



【 お仕事の内容を紙芝居で説明 】



【 パパと一緒に重機の試乗 】

## 参加者からの感想

### ■ 従業員から

同じ年代の同僚に子どもがいることは知ってましたが、会うのは初めてでした。これからは職場でも父親同士で子育ての話がしやすくなりそうです。

### ■ 職場の方から

- ・会社にとって若い力は大切です。長く働いてもらうためにも、日頃から風通しがよく、話しやすい環境づくりに心がけています。休みの希望は会社のカレンダーに名前を書いてもらい、それをもとに勤務日を調整するなど、社内で助け合ってます。
- ・少しでも家族で過ごす時間を持てるよう、休暇を取りやすい環境は大切です。また、社員の定着のためにも、ベテランが若手をサポートするなどしています。

# 「子どもお仕事参観日」 実施例vol.2

## 【実施企業の概要】

- ・業種 製造業
- ・従業員数 8名
- ・参加者 保護者等 3名  
子・孫 4名

## 実施内容

- 集合・挨拶
- 味噌木桶見学
- お仕事体験
  - ・味噌カップ詰め
  - ・醤油の榨（かい）つき
  - ・醤油の瓶詰め
- パパ・ママへのメッセージづくり
- メッセージ贈呈・記念撮影
- 終了



【 パパのお仕事(榨つき) を見学 】



【味噌のパック詰めを体験】



【醤油の瓶詰めと商品シール貼り体験】

## 参加者からの感想

### ■ 従業員から

子どもが興味を持っていたので、私の仕事を見せられてすごく良い機会でした。職場は子育てに理解があり、急な発熱や行事がある時は他の人に助けてもらっています。

### ■ 職場の方から

- ・ 家族に職場を理解してもらうことは大事ですね。社員には正確・安全に作業してもらいたいので、お子さんのことで休みが必要な時は対応できるようにしています。従業員同士、お子さんも含めた家族関係も充実させてほしいです。
- ・ 参加した子どもたちがかわいくて、とても楽しい1日でした。みんなパパ・ママを頑張っていると思うとこちらも応援したくなりますね。



# とちぎ不妊対策シンポジウム

栃木県

## 事業の様子



## 地域の実情と課題

### ○実情

- ・不妊に悩む方への特定治療支援事業助成件数は年々増加傾向(H16:290件→H25:1,966件)
- ・不妊専門相談センターにおける相談件数も増加傾向(H15:259件→H25:907件)

### ○課題

- ・不妊治療をする方は、仕事と治療の両立に悩むことが多く、職場の理解が求められている。

## 事業の特徴

○少子化や不妊対策は、保健福祉部局単独で実施されることが多いが、本事業は「不妊治療と仕事の両立」をテーマに労働部局とタイアップして開催し、広く企業におけるサポート体制の整備等について普及啓発を図る。

## 事業費

126万円

## 期待される効果

- 事業所関係者等の不妊治療への理解が深まり、治療している方が休暇を取得しやすい職場環境・雰囲気醸成される。
- 不妊専門相談センターや助成事業等についての啓発につながる。

## 事業の概要

### 【趣旨・目的】

○事業主や従業員等に対し、妊娠・出産に関する正しい知識や、不妊への理解を深めることで、従業員が不妊治療等をしやすい職場環境への改善を図るとともに、安心して妊娠・出産・育児ができるような社会の気運を醸成する。

### 【事業内容】

○平成27年1月11日(日)13:30~16:00

とちぎ男女共同参画センター(パルティ)

○参加者:一般県民、事業所関係者等 約150名

○産婦人科医や男性不妊専門医による基調講演

○産婦人科医、事業所関係者、不妊治療経験者、不妊専門相談員の4名によるパネルディスカッション

○厚生労働省職員による妊娠・出産・育児に関する制度説明

○関連団体や企業による各種ブースの設置

・たばこや食生活に関する展示

・乳がん触診体験、骨密度測定等の健康づくり

・ハンドマッサージによるリラクゼーション 等

○男性不妊専門医、助産師による不妊相談(10組が利用)